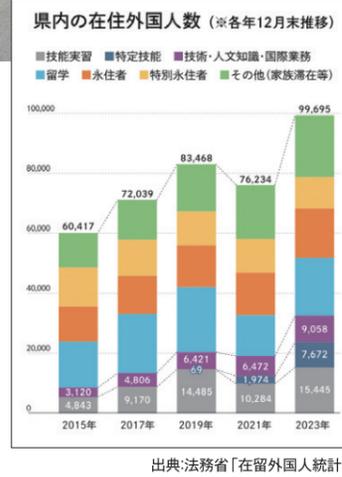


# ワンストップで相談できる「FUKUOKA IS OPEN センター」が開設しました!

福岡出入国在留管理局、福岡労働局など8つの海外人材専門機関が一体となって生活や就労などを支援することで、在住外国人が地域で安全・快適に生活し、活躍できる環境の充実を図ることを目的とし、アクロス福岡3階に「FUKUOKA IS OPEN センター」が開設しました。出入国在留管理局が共にサポートを行う体制は全国初。子どもの教育についてや、企業が高度な知識や技術を有する外国人の雇用を検討したり、外国人材の活用に関する助言を受けたりしたい場合も、相談に応じます。



私自身も何度も急増する外国人材に対し、きめ細やかな対応ができる機関の創設を求めてきました。このセンターの開設により、失踪事案の減、人材不足の解消、多文化共生社会の実現を期待します!

### 【福岡県内の在住外国人】

福岡県内に在住する外国人は2023年12月時点で9万9,695人と、前年比で11.4%増加した。国籍別では、ベトナム(2万1,369人、7.7%増)が最も多く、中国(2万702人、6.5%増)、韓国(1万4,336人、1.1%増)、ネパール(1万4,125人、19.6%増)と続く。また、インドネシアは4,584人で上位の国籍に比べると少ないが、前年比で75.5%増と大幅に増えており、うち約8割が特定技能または技能実習による在留資格となっている。

## 全国初・地元木材積極活用コンビニ「セブンイレブン福岡もち店」

福岡市産の木材を構造部分や内外装に使用した「次世代環境配慮型店舗」が百道浜に開業しました。木材の約4割が福岡市産のスギやヒノキで、地元木材を積極的に活用した店舗は全国初です。主に軽量鉄骨を用いる標準的な工法と比べると、建築や解体時の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を15%程度削減できる見込み。店舗の屋根とカーポートの上には太陽光パネルを搭載し、敷地内に蓄電池設備も設置。省エネ性能の高い冷蔵ケースなども導入し、13年度のセブン店舗の平均値と比べて電気使用量とCO<sub>2</sub>排出量を約50%削減できるそうです。環境に優しいコンビニ、注目です。



### 県議会代表質問を傍聴しよう!

12月議会の民主県政クラブ県議団の代表質問は、後藤香織が登場する予定です。ぜひ後藤香織の応援に、県議会傍聴しませんか? ご希望の方は、後藤香織県政事務所まで、ご連絡ください! TEL 092-832-6807 E-mail rikken.gotokaori@gmail.com

# 福岡県議会議員 (福岡市早良区) 後藤香織 県議会報告

### 後藤香織 県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38 五十三萬石ビル 2F  
TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808  
E-mail rikken.gotokaori@gmail.com



### 福岡県議会 9月定例会報告

2024年9月定例会は、9月5日から10月9日までの35日間の会期で開催されました。開会日に知事から、予算議案2件、条例議案5件など計35議案が、9月12日には令和5年度福岡県一般会計決算議案など、決算の審査に係る議案20件が追加提案されました。代表質問、一般質問、及び各常任委員会の審査を経て、9月25日に早期議決を行い、その後、決算特別委員会の審査が行われました。最終日の10月9日には衆議院議員総選挙に要する24億7千万円余の補正予算案が新たに1件追加提案され、全ての議案を可決し、閉会しました。



## 10月27日(日) 衆議院議員選挙 開票結果報告

福岡3区(早良区、西区、城南区3区、糸島市) 投票率 53.45%

当 古賀あつし	自民・5回目	95,074
にえだ元気	立憲	65,835
瀬尾ひでとし	維新	23,289
奥田ふみよ	れいわ	22,661
重松ゆうこ	参政	12,887
山口ゆうと	共産	11,059



これからも裏金政治・古い政治と決別し、県民の皆さまの声が届く政治の実現に向けてともにがんばってまいります。

### ごとうかおり プロフィール

1979年 大分県日田市生まれ  
1998年 大分県立日田高校 卒業  
2002年 愛知教育大学 教育学部(総合理学コース) 卒業  
大学卒業後、短大、専門学校にて勤務  
2014年 ふくおか女性いきいき塾 3期生  
2019年 福岡県議会議員 初当選  
2023年 福岡県議会議員 2期目当選  
南庄在住、夫と子ども3人、義父母の7人家族  
(趣味)カラオケ、マンガ、ヨガ、史跡めぐり  
・「女性のための政治スクール」「パリアアカデミー」修了

子育て世代・女性の声を届けるため日々奮闘中!

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 所属  
政策審議会事務局次長  
女性活躍・ジェンダー委員長  
●建築都市委員会 副委員長  
●子育て支援・人財育成調査特別委員会 委員  
●オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 副会長  
●福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 幹事  
●アビスパ福岡を応援する会 理事  
●福岡県住宅供給公社評議員会評議員  
●福岡県交通対策協議会委員  
・福岡県日中友好協会 理事長  
・西区野球連盟 顧問 ・早良区少年愛護パトロール委員  
他にも、子ども会、福岡西部子ども劇場など、地域の皆さまと共に活動中!



福岡県議会 民主県政クラブ県議団 会派控室 〒812-8574 福岡市博多区東公園7-7県議会内  
TEL 092-643-3804 FAX 092-622-6203



子育て世代・女性の声を県政に! 働く者、生活者の声を届けます!

## 2024.9.13 一般質問しました!

### 望まない妊娠をした女性の支援と性知識の普及啓発の取組について

後藤

2019年度（令和元年度）以降の10代の人工妊娠中絶実施率と全国順位の推移は？望まない妊娠を減らすために、若年者への性の知識普及啓発が必要と考えるが、今後の取組は？

知事

本県における10代の女子人口千に対する「人工妊娠中絶実施率」と全国順位は、令和元年度は、6.5で46位、令和2年度は、5.3で45位、令和3年度は、4.5で44位、令和4年度は、4.4で42位と改善傾向にあるが、依然として高い状況。  
さらなる改善のため、今年度、プレコンセプションケアセンターを開設し、助産師が性や妊娠・出産に関する相談に応じるとともに、  
・小中等学校の養護教諭等を対象とした研修会の開催  
・大学等における性と健康に関する出前講座の実施  
・大学生等と協働で作成したオンラインマンガのSNSでの発信  
に取り組み、普及啓発を強化した。こうした取組を進め、若者の予期しない妊娠の減少を図ってまいります。

子ども家庭庁が発表した「こども虐待による死亡事例等の検証結果」によると、2003～2022年に虐待死した0～17歳は989人で、その半数を0歳児が占めました。中でも、生まれた瞬間に殺されてしまう生後0日が176人と最も多く、そのうち、父親の年齢を把握できたのは43人ととどまり、父親の実態が不透明で、妊娠、出産への負担が女性に大きく偏る現状が浮き彫りになりました。母となった女性は全て医療機関外で出産し、165人が加害者とされている一方で、父である男性の責任が問われることはありません。

望まない妊娠をしてしまい、どうすることもできなくなった女性たちが新生児の殺人や遺棄するといった犯罪を選択することを防ぐこと、赤ちゃんの生命を守ることを目的として、熊本市の慈恵病院に「このとりのゆりかご」があります。7月に我が会派で視察に行きました。私は、望まない妊娠をした女性への支援の更なる充実が必要だと考えています。

この他に、

●緊急避妊薬の薬局での試験販売について、地域が偏り過ぎており、スイッチOTC化に向けて、薬局、地域を拡大してほしいこと

●性教育について、包括的性教育の必要性和、学習指導要領における「はじめ規定」の撤廃についても質問しました。

質問内容の詳細については、  
後藤香織オフィシャルホームページ、  
または福岡県議会ホームページにて動画、  
検索ができますので、ぜひご覧ください。



## 決算特別委員会で質問しました!

決算特別委員会は9/26～10/7で2023年度の決算審議が行われ、私も委員として出席しました。

また、今回は理事として、決算特別委員会の円滑な運営、会派間調整にも努めました。

### アスベスト対策について

後藤

建築物等の解体等工事に伴うアスベスト事前調査に対し、今後どのようにチェック機能の強化を図るのか？アスベスト対策の更なる推進は？

環境部長

今後は、先進自治体の取組を研究するとともに、デジタル技術を活用するなどして、報告されたアスベスト事前調査結果を効率的にチェックする体制の構築に努めてまいります。  
また、実際の立入検査においてどのような指導が行われているか、どのような箇所でアスベストの見落としが多いか、アスベスト事前調査結果が報告されていない事例をどのように探知しているかなど、先進自治体の事例も含めて継続的に検証し、その検証結果を検査方法に速やかに反映させることで、より効果的な立入検査を実施してまいります。その上で、立入検査の実施状況に応じて、適切な立入に必要な対応を検討するなど、アスベスト対策にしっかりと取り組んでまいります。

アスベスト（石綿）は、断熱・防音性、耐薬品性等に優れていることから、以前は、吹付けアスベストやスレート材などの壁材、天井材として使用され、国内でのアスベスト消費のほとんどは建材製品となっていました。しかし、アスベストによる健康被害が甚大であったことから、その規制は段階的に強化され、2006年には製造や使用が原則禁止となりました。

今後は、大量かつ長期にわたり発生するアスベスト含有建材を、作業従事者の健康被害や環境放出を回避しつつ、適正に解体等工事をし、処理することが必要と考えます。この観点から、今回は特に、建築物等の解体等工事に伴うアスベスト対策で、事前調査について、中心に質問しました。

県が、事前調査結果報告を受け、レベルの確認、調査実施などの確認をきちんと実施しているのか、などについて、課題をのべ、現状を確認しました。

また、アスベスト使用の可能性のある建築物の解体等工事は、2028年頃の10万棟をピークに全国的に増加することが見込まれており、大気汚染防止法の改正により、事前調査の件数も増加傾向にある中で、今後はさらに届出の受付件数、データ化、確認等の作業も増加することが予想されます。

更なるチェック機能の強化、総合的なアスベスト対策の強化を要望しました。

質問にあたり、建設労働者の皆さまに課題などお聞きしました。ありがとうございました!

## 活動報告



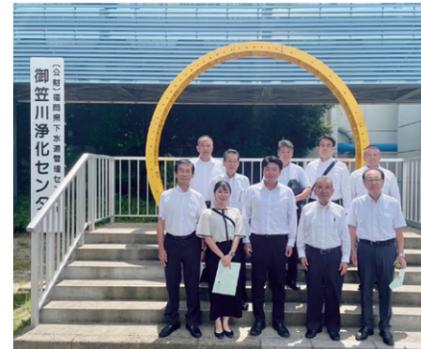
7/2 県農林水産部に対し、食の安心安全を守るための意見交換を行いました。



7/4 西新の放課後デイサービス「チロル」を訪問し、現状と課題をお聞きしました。



7/7 田隈人権週間に参加し、人権について、地域の方々と一緒に学びました。



7/9 建築都市委員会で御笠川浄化センターを視察し、下水道事業を学びました。



7/10 百道に開設された公立夜間中学校「福岡きぼう中学校」の内田久徳・校長先生から、現状と課題をお聞きしました。



7/14 早良消防団ポンプ操法大会に参加しました。



7/19 富士インターナショナルアカデミーを訪問し、日本語学校の現状をお聞きしました。



7/22 「福岡虹の会 BPW福岡クラブ」の例会にて、中嶋玲子県議とともに「女性の政治参画と実践」をテーマにお話をさせていただきました。



7/24 特定妊婦を支援する「こどもと女性包括支援センターhalu ここはる」を視察しました。



7/29 超党派の若手議員有志で、古賀市の「快生館」を視察し、田辺一城・古賀市長と多様な主体との共創による持続可能な社会について意見交換しました。



8/1 会派で熊本市のこのとりのゆりかごを視察し、9月議会一般質問しました。



8/21 子育て支援・人材育成調査特別委員会で福岡県立大学の「不登校・ひきこもりサポートセンター」を視察しました。

8/26 立憲福岡県連の政策審議委員会として、政策を学ぶ「サマーセミナー」を企画・開催。女性の政治参画などについて、スクール生にお話ししました。



2ヶ月間、大学生インターンを受け入れました。8/3 西新の就労継続支援B型事業所「コトリ珈琲店」を訪問し、実績をお聞きしました。

